



地域文化 と 民族資料

フィールドワークの現場から

入場無料(事前申込要)

① 12/2 月 15時00分～
中部大学リサーチセンター



「韓国農村の民俗文化 1970年代の映像で顧みる」

講師：伊藤 亜人 東京大学名誉教授／文化人類学 韓国

主著：『韓国夢幻－文化人類学者が見た70年代の情景』(新宿書房/2006年)
『文化人類学で読む日本の民俗社会』(有斐閣/2007年)
『珍島 韓国農村の民族誌』(弘文堂/2013年) 他

東京大学大学院社会学研究科修士課程修了、同大学院博士課程を中退し教養学部助手、
東京大学東洋文化研究所助手、教養学部教授、大学院総合文化研究科教授を経て
琉球大学大学院教授、早稲田大学教授歴任。この間ハーバード大学客員研究員、
ロンドン大学 SOAS 客員研究員、ソウル大学校招聘教授などを歴任。
韓国研究で人類学的なフィールドワークを行い、関連論文多数発表。
1977年に渋沢賞、2002年に大韓民国王冠文化勲章を受章。

司会：宇治谷 恵 中部大学民族資料博物館 副館長

② 12/13 金 15時00分～
中部大学リサーチセンター



「パプアニューギニアの伝統と現在」

講師：豊田 由貴夫 立教大学観光学部教授／文化人類学 パプアニューギニア他

The Pacific War in Papua New Guinea: Memories and Realities (編著) 他
『睡眠文化を学ぶ人のために』(世界思想社/2008年/共著)、『展示の政治学』(水声社/2009年/共著) 他
東京大学大学院社会学研究科博士課程修了。オーストラリア、シドニー大学人類学部への留学後、
亜細亜大学国際関係学部助教授、立教大学文学部教授などを経て、現在に至る。専門は文化人類学で、
パプアニューギニアを中心とする南太平洋地域で近代化の影響や経済開発の可能性などを研究している。

司会：宇治谷 恵 中部大学民族資料博物館 副館長

